

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2021について

シーニックバイウェイ北海道 推進協議会

令和4年 12月 22日



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2021



Scenic Byway HOKKAIDO

平成20年度よりシーニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動であり、将来への発展性が高く評価できる取り組みを選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト」の取り組みを実施。

2020

～景観阻害物を撤去して再利用！～ 景観向上に向けた雑木伐採と資源のリユースプロジェクト（支笏洞爺二セコルート）

オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト（萌える天北オロロンルート）



2019

～「はこだて花かいどう」での一年を通じた継続的な取り組み～
函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」
（函館・大沼・噴火湾ルート）



2018

どうなん道の駅連携事業
（どうなん・追分シーニックバイウェイルート）



2017

～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～
ビューポイントパーキングの景観改善（電線移設）
（支笏洞爺二セコルート）



2016

いにしえ街道の景観を活かした街づくり
（どうなん・追分シーニックバイウェイルート）



2015

そらの森の植樹活動～地域で育てる森プロジェクト～
（釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ）



＜表彰＞

●活動団体賞 2 件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 15件】

●部門賞 3 件（指定ルートを対象）

＜エントリー部門＞

美しい景観づくり賞 【エントリー数 3件】

活力ある地域づくり賞 【エントリー数 7件】

魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5件】

※部門賞は、部門毎に 1 件とし最大 3 件とするが、評価の結果によってはこの限りではない。

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2021」1 件（指定ルートを対象）

部門賞の中から 1 件選出（評価の結果によってはこの限りではない。）

＜評価の視点＞

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度の評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成

▼各賞決定までの流れ

募集開始



各ルートから活動の応募



■活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出



■部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出



推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

活動団体賞候補〔エントリー15件〕



※点数上位5位までの点数とコメントを表記

Scenic Byway HOKKAIDO

部門	NO	ルート名称	活動名称	点数	主なコメント
美しい景観づくり	①	支笏洞爺二セコルート	～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～ QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト	13	主催者ではなく来場された方がポケストップに登録しており、一般の方への普及として、反響があったことが伺える。
	②	東オホーツクシーニックバイウェイ	シーニックデッキの設置		
	③	知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ（候補ルート）	ジモトナタビ+ピリカ		
活力ある地域づくり	④	東オホーツクシーニックバイウェイ	ルート内道の駅スタンプラリー		
	⑤	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成	23	◎ 高校生と連携することで、若い世代への地元愛の育成が期待できる点や、空港と連携することで、宣伝効果による地域の知名度や価値を高めることができる点が評価できる。
	⑥	函館・大沼・噴火湾ルート	～つくる責任 つかう責任 SDGsの目標12の採用～ 持続可能な資源のリユースと活動体制づくり		
	⑦	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	～知らなきゃ損！2人目が無料～ 「ふたりぼっちパスポート」事業	28	◎ 設立当初から形態を替えながら、利用者、参加施設、双方のメリットがある仕組みは持続性が期待でき、お得感があり楽しく周遊できる。今後のさらなる展開に期待する。
	⑧	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	小金湯さくらの森と周辺の知名度向上&魅力アップ事業		
	⑨	どうなん・追分シーニックバイウェイルート	～企業との連携、公共交通との融合～ どうなんサイクルツーリズム推進事業	17	鉄道の存廃が問題化している現在、サイクルツーリズムと二次交通の連携の取り組みは注目すべき活動である。
	⑩	空知シーニックバイウェイ-体感未来道-(候補ルート)	～ひとつひとつの町に物語があります～ ルーツを知り、物語を紡ぐ『空知ノ物語（奈井江編）』		
魅力ある観光空間づくり	⑪	大雪・富良野ルート	ルート情報発信		
	⑫	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上	13	道路協力団体として資金の捻出、地元、自治体との協力が感じられる取組み。道の駅を訪れる全ての人の満足度を高めることで、また利用したい気持ちになり、ストレスフリーの取組みはお手本となる。
	⑬	萌える天北オロロンルート	地域協働によるサイクルラックづくり		
	⑭	どうなん・追分シーニックバイウェイルート	～海外渡航への道を切り開いた咸臨丸が眠るサラキ岬～ チューリップ植栽活動等による観光魅力向上の活動		
	⑮	天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ	きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み		

活動団体賞

活動名称

～知らなきゃ損！2人目が無料～
「ふたりぼっちパスポート」事業

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

①活動概要

活動目的

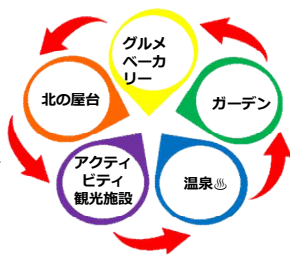
- 十勝の「グルメ」「ガーデン」「温泉」「アクティビティ」「グッズ」の5つの魅力を活用し、地域住民の周遊促進、施設のPR、相互送客、新規ファン獲得を図る。
- 相互誘客による施設同士の連携醸成、来客数・収益UPによる地域経済の活性化を図る。
(ルート設立当初から、形態を変えながらの継続事業)

活動内容

・2人以上で対象施設を利用すると1人分の料金が無料となるパスポート(1冊1,400円)を制作・発行。

実施期間

令和2～3年度(5月1日～11月30日)



参加施設
もお得！

③PRポイント

【創意工夫した点】

★利用者の送客効果

利用者が、パスポート掲載の他の施設を利用することによる送客効果がある。

★施設内の販促演出・販促物の提供

複数施設が集まることで共同販促ができる。

★情報発信

利用方法・お得感をイメージしやすいように、利用方法の動画を制作、Youtubeに公開。トカプチ雄大空間各SNSで参加店情報を随時発信。

★利用者、参加施設の双方にメリット

利用者、参加施設双方へメリットを提供する仕組みづくり。

★十勝移住の漫画家「横山裕二」氏にイラストを依頼

販促グッズは全て無料で
事務局より提供

利用者も
お得！

●パスポート販売収入

・参加施設はパスポート販売額の7～9割の収入(売上)で原価回収！

パスポート代金 1,400円内訳
※トカプチ雄大空間会員の場
施設売上=1冊1,300円
事務局収入=1冊100円

●2名以上が来店

・1名半額よりも粗利額が確保できる。
・特典商品以外の購入で、客単価の向上。

●新規客層をゲット！

1人無料で気軽に試せるので新規客層増加が見込める。

◆1人分無料でお得に十勝周遊！

・1人分無料が最大の魅力！訪れたことのない施設や飲食店も気軽に試せる！

◆3か所訪問で元が取れる！

600円以上の商品(特典)が提供されているので、パスポート代の1,400円もすぐに元がとれちゃう！

◆総額3万円以上お得！

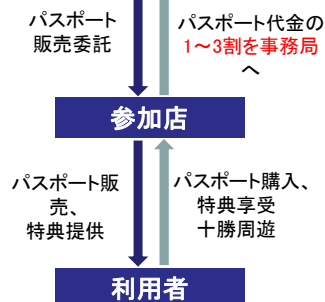
パスポート掲載施設を全て訪問すると3万円以上もお得に！



②活動体制

トカプチ雄大空間事務局
楽しむ部会

- R3年度のコロナ禍でもすべてにおいて増加！
- 特に販売枚数、利用者数は大幅に増加



	参加店数		販売数		利用数	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3
計	49	64	470	801	827	2,291
ガーデン	4	4	29	220	177	437
温泉	6	4	42	34	217	366
アクティビティ	4	5	1	14	5	6
グルメ	25	40	63	189	422	1,482
グッズ	1	1	21	25	6	0
販売協力店	9	10	314	319	-	-

【活動による効果】

(1)施設の宣伝効果、ファンの獲得

SNS上で「お得！」「普段行かない所へ行った！」との投稿や、個人によるパスポート利用動画がyoutubeに投稿された。参加店の「ファン」となり、リピーターになる例も。

(2)周遊促進効果

令和2年度より、販売数・利用数・パスポート1冊における利用数が増加⇒本パスポートを利用した十勝周遊観光者が増加している。

【今後の課題】

- ・参加店増加による紙面掲載枠が縮小。冊子型にするなど予算を見ながら対応。
- ・パスポート販売のみの施設(原価なし)でパスポート購入→原価がある施設への訪問による不満解消が課題。

活動団体賞

活動名称 地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成

エントリー部門 **活力ある地域づくり**

ルート名称 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の背景

- ・平成22年にたんちょう釧路空港に寄贈した手作り看板が風雨で老朽化
- ・シーニックバイウェイの活動を通じて、地域の高校との関係性を構築

●活動の目的

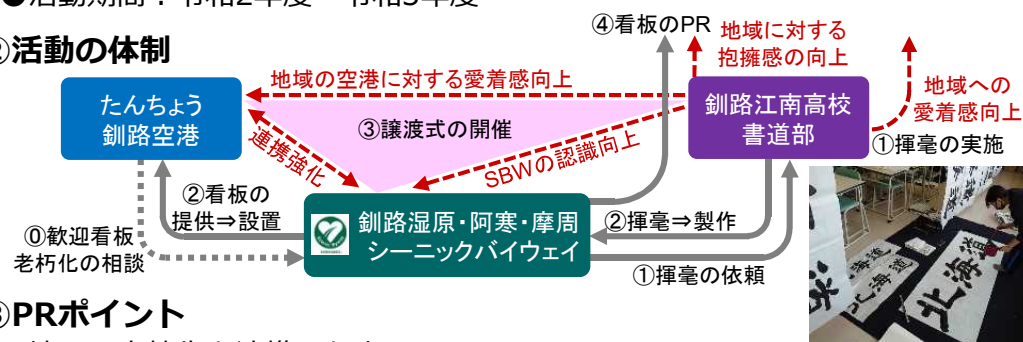
これまでシーニックバイウェイとの連携が少なかった高校生世代と連携し、シーニックバイウェイを知ってもらうとともに、自分の育っている地域に「愛着感」「抱擁感」を感じ、「地域愛」を育んでもらうことを目的とした。

●活動内容

- ①SBW946より釧路江南高校書道部に、看板への揮毫の協力を依頼（快諾）
- ②書道部が揮毫した作品を元に、地域住民が手作りで看板を製作、設置
- ③SBW946、釧路江南高校書道部、たんちよう釧路空港で譲渡式を開催
- ④Scenic Byway Vol.28や新聞などでの空港看板の紹介（PRを開始）

●活動期間：令和2年度～令和3年度

②活動の体制



③PRポイント

- 地元の高校生と連携した点
 - ⇒ 次世代を担う若者に地域への愛着感、地元大切にされている感を育成
 - ⇒ 次世代を担う若者にシーニックバイウェイと活動内容を知ってもらう
- ドライブ観光客の玄関口である空港と継続的に連携している点
 - ⇒「懐かシーニックパネル展」の開催、「ぐるっとスタンプラリー」への参加等
随所でたんちょう釧路空港、根室中標津空港と連携して地域の魅力を発信
- 「そらの森の植樹活動」などで、地元の小中学生と連携した活動も継続中



たんちょう釧路空港の歓迎看板(左:活動前、右:活動後)



部門賞① 美しい景観づくり部門候補〔エントリー 3件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

No.	活動名 【ルート名】	評価意見
1	～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～ QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト 【支笏洞爺二セコルート】	◎ ・地元の視点を重視した結局的な地域資源の魅力の発信。他地域との連携も期待。 ・QRコードの活用内容が説明資料からは、説明資料からわからなかった ・景観づくりは人の気持ち・愛情、地域の活力が根底にあることを体現する総合的な取り組みである。 ・どのくらいアクセスがあったのかを記載されていたら、想いがどう伝わっているのかがわかりやすかったのだが残念。秀逸な道の地域への周知につながったのは、副産物としては大きいと評価する。
2	シーニックデッキの設置 【東オホーツクシーニックバイウェイ】	・持続性の評価と“シーニックデッキ”の「当たり前化」への貢献 ・着実な進展が認められる ・長年、取り組んでおられることに敬意。 ・マルシェの実施がシーニックの認知度向上、農商工業者の新たな販路拡大創出に寄与した点を評価する。シーニックが地域に貢献できることを具体的に示せたことは、今後の活動に大いに役立つと考える。
3	ジモトナタビ+ピリカ 【知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ】 (候補ルート)	対象外 ・ピリカにより活動の成果の見える化と共有が実現してることは高く評価したい。ルート認定後のぜひ継続していただきたい。 ・「住んでいる町を美しくする」、これはSBW活動の原点でもあり、観光立国の理念「住んでよし、訪れてよしの町づくり」そのものですね。

美しい景観づくり賞

活動名称

～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～
QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト

エントリー部門

美しい景観づくり

ルート名称

支笏洞爺ニセコルート

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の目的・目標：

- ・シーニックバイウェイの原点と考える“美しい沿道景観づくり”とその取り組みを支える“人”と“活動”に関する情報発信を目的としたプロジェクト。
- ・この取り組みの継続展開により、美しい道路空間づくり、走って楽しい道路空間づくりを目指し、地域内外に誇れるシーニックバイウェイ「秀逸な道」の更なる認知度向上に向けた展開とすることを目的としている。

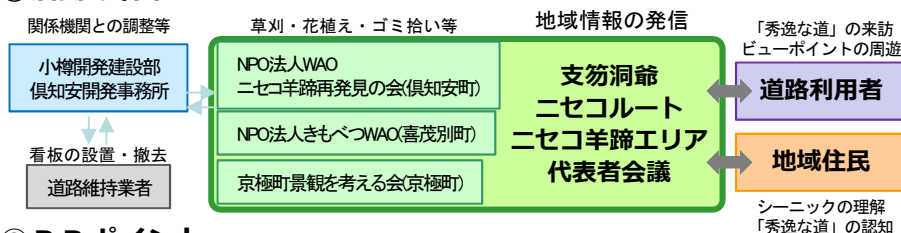
●活動内容：①ビューポイントパーキングへの看板設置による地域情報の提供と効果検証

②地域活動団体メンバーがシーニックを語るアーカイブ動画の作成と配信

●活動期間：令和2年度(2020)～令和3年度(2021) ※継続展開中

●実施場所：ニセコ羊蹄エリア内のビューポイントパーキング3箇所 (倶知安町八幡、京極町更進、喜茂別町相川の各ビューポイントパーキング)

②活動の体制



期間限定で設置した地域情報等を紹介する看板

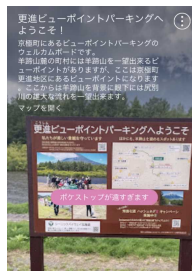
③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- ・単なる景色や風景の紹介にとどまらず、地元の人々がどのような思いでこの場所を大切にしているか等を地域活動団体メンバーが語ることで**場所の持つストーリー性を発信**するよう配慮した。
- ・今後、他メンバーや季節ごとの素材をさらに収集予定。

【活動による効果】

- ・「更進ビューポイントパーキング」が道路ユーザーにより**ポケストップに登録**された。(右写真参照)
- ・当初、来訪者向けのプロモーション動画を想定して撮影・配信したが、地域住民等、地域内へのシーニックバイウェイや「秀逸な道」の周知にも役立った。



※ポケストップとは？

ゲームユーザー自身がモニュメントや記念碑などをスポットとして申請することでゲーム内に登場させることが可能。

STEP1 美しい景観づくり活動の継続と動画撮影



STEP2 仮設看板の製作と設置

The sign is titled 「や、は、た 八幡ビューポイントパーキングへようこそ！」 (Yes, Ha, Ta Hachiman Viewpoint Parking, Welcome!). It features a map of the scenic route area, QR codes for social media, and text about the scenic route and the 'Showa Road' campaign. It also includes a QR code for the 'Showa Road' campaign and a QR code for the 'Showa Road' campaign.

STEP3 シーニックバイウェイYouTubeチャンネルでの動画公開

↓現在公開中(ニセコ羊蹄エリア 3本)



部門賞② 活力ある地域づくり部門候補〔エントリー 7件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

No.	活動名 【ルート名】	評価意見
1	ルート内道の駅スタンプラリー 【東オホーツクシーニックバイウェイ】	・スタンプラリーV2.への視点と活動を期待。 ・シーニックデッキやマルシェとの連携を期待。
2	地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成 【釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ】	・地元高校生(=次世代)との連携によるシビックプライド構築への視点を評価。 ・高校生からのアイデア提供などに発展していくことが期待される。 ・地元高校との連携という発想が良い。小学校高学年～高校生という次世代のツーリズムを託す層を意識してSBWの運動論に参加していただくことはシーニックの継続性・持続性に繋がり、人材育成の一環になる。 ・地元愛を育む取組を機会を活用して、形として残せたことを評価する。高校生との連携、シーニックの活動内容を具体的に認知してもらえたことは、今後シーニックの次世代育成に貢献度が高いと考える。
3	～つくる責任 つかう責任 SDGsの目標12の採用～ 持続可能な資源のリユースと活動体制づくり 【函館・大沼・噴火湾ルート】	・SDGs(持続社会構築)の積極的な取組みと人材育成(町内会/小中高)実装化。 ・シーニックデナイトが定着しつつあり、このこととの相乗効果が大きい取り組みである。シーニックの新しい挑戦として評価できる。 ・人類にとつての最大の関心事、地球温暖化対策の一環をなすSDGsの17の目標はSBW活動の中でも主導的な位置づけであらねばならないはず。 ・SDGsへの取組を具現化して意識醸成を図った点を評価するが、今後どう拡大展開SDGsへの取組を具現化して意識醸成を図った点を評価するが、今後どう拡大展開していくのかが問われる点もあるので、見守りたい。
4	～知らなきゃ損！2人目が無料～ 「ふたりぼっちパスポート」事業 【十勝シーニックバイウェイカブチ雄大空間】	・地域循環型ビジネスモデル構築への実装化。他ルートへの普及活動も期待したい。 ・事業者と利用者のウインウインが成り立っており、多くの地域での適用可能性も高い。 ・アナログ版観光MaaSの成功例。売れ行きの圧倒的増加が素晴らしい。さらに、コースや地域の拡大とデジタル化の取り組みも期待したい。 ◎ 集客数、SWB理解者をダブルアップするアイデアに敬意を表します。どのジャンルの参加店もダブルアップさせていって下さい。 ・十勝の潤沢な地域資源があることで成り立つ仕組みであり、有効活用のアイデアが満載である。稼ぐ十勝を評価すると同時に課題が浮彫になってくるので、更なる創意工夫でノウハウを蓄積して欲しい。
5	小金湯さくらの森と周辺の知名度向上&魅力アップ事業 【札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート】	・読み聞かせ活動の効果の確認と次のステップの模索を期待。
6	～企業との連携、公共交通との融合～ どうなんサイクルツーリズム推進事業 【どうなん・追分シーニックバイウェイルート】	・wellness社会を意識した活動による地域価値の活用と諸団体との連携活動を評価。 ・鉄道とバスの両方を取り込んだ点が評価できる。セルフガイドツアー化を期待したい。 ・ツアーについて補助がなくとも成立するとすれば発展性が高い。 ・来るべきアフターコロナ時代のツーリズムはインバウンド(外国人旅行者)、イントラバウンド(邦人国内旅行者)共に従来と違う顔をしています。サイクルツーリズムにはまだまだ進化・発展の余地があります。行政・企業のみならず、若者・女子会、学校も巻き込んでユニークな推進活動を期待しています。
7	～ひとつひとつの町に物語があります～ ルーツを知り、物語を紡ぐ『空知ノ物語(奈井江編)』 【空知シーニックバイウェイ-体感未来道-】 (候補ルート)	対象外 ・本格実施を期待したい。成果報告が楽しみです。 ・「ひとつひとつの町に物語があります」というキャッチコピー、素晴らしいと思います。ツーリズムの原点です。地元、住民の皆さんを重視されている取組、期待しています。

活力ある地域づくり賞

活動名称

～知らなきゃ損！2人目が無料～
「ふたりぼっちパスポート」事業

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

①活動概要

活動目的

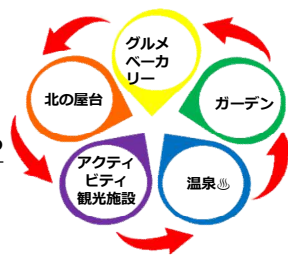
- 十勝の「グルメ」「ガーデン」「温泉」「アクティビティ」「グッズ」の5つの魅力を活用し、地域住民の周遊促進、施設のPR、相互送客、新規ファン獲得を図る。
- 相互誘客による施設同士の連携醸成、来客数・収益UPによる地域経済の活性化を図る。
(ルート設立当初から、形態を変えながらの継続事業)

活動内容

・2人以上で対象施設を利用すると1人分の料金が無料となるパスポート(1冊1,400円)を制作・発行。

実施期間

令和2～3年度(5月1日～11月30日)



参加施設
もお得！

③PRポイント

【創意工夫した点】

★利用者の送客効果

利用者が、パスポート掲載の他の施設を利用することによる送客効果がある。

★施設内の販促演出・販促物の提供

複数施設が集まることで共同販促ができる。

★情報発信

利用方法・お得感をイメージしやすいように、利用方法の動画を制作、Youtubeに公開。トカプチ雄大空間各SNSで参加店情報を随時発信。

★利用者、参加施設の双方にメリット

利用者、参加施設双方へメリットを提供する仕組みづくり。

★十勝移住の漫画家「横山裕二」氏にイラストを依頼

販促グッズは全て無料で
事務局より提供

利用者も
お得！

●パスポート販売収入

・参加施設はパスポート販売額の7～9割の収入(売上)で原価回収！

パスポート代金 1,400円内訳
※トカプチ雄大空間会員の場
施設売上=1冊1,300円
事務局収入=1冊100円

●2名以上が来店

・1名半額よりも粗利額が確保できる。
・特典商品以外の購入で、客単価の向上。

●新規客層をゲット！

1人無料で気軽に試せるので新規客層増加が見込める。

◆1人分無料でお得に十勝周遊！

・1人分無料が最大の魅力！訪れたことのない施設や飲食店も気軽に試せる！

◆3か所訪問で元が取れる！

600円以上の商品(特典)が提供されているので、パスポート代の1,400円もすぐに元がとれちゃう！

◆総額3万円以上お得！

パスポート掲載施設を全て訪問すると3万円以上もお得に！



②活動体制

トカプチ雄大空間事務局
楽しむ部会

パスポート
販売委託
事務局
パスポート代金の
1～3割を事務局
へ

参加店

パスポート販
売、
特典提供
参加店
パスポート購入、
特典享受
十勝周遊

利用者

- R3年度のコロナ禍でもすべてにおいて増加！
- 特に販売枚数、利用者数は大幅に増加

	参加店数		販売数		利用数	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3
計	49	64	470	801	827	2,291
ガーデン	4	4	29	220	177	437
温泉	6	4	42	34	217	366
アクティビティ	4	5	1	14	5	6
グルメ	25	40	63	189	422	1,482
グッズ	1	1	21	25	6	0
販売協力店	9	10	314	319	-	-

【活動による効果】

(1)施設の宣伝効果、ファンの獲得

SNS上で「お得！」「普段行かない所へ行った！」との投稿や、個人によるパスポート利用動画がyoutubeに投稿された。参加店の「ファン」となり、リピーターになる例も。

(2)周遊促進効果

令和2年度より、販売数・利用数・パスポート1冊における利用数が増加⇒本パスポートを利用した十勝周遊観光者が増加している。

【今後の課題】

- ・参加店増加による紙面掲載枠が縮小。冊子型にするなど予算を見ながら対応。
- ・パスポート販売のみの施設(原価なし)でパスポート購入→原価がある施設への訪問による不満解消が課題。

部門賞③ 魅力ある観光空間づくり部門候補〔エントリー 5件〕



Scenic Byway HOKKAIDO

No.	活動名 【ルート名】	評価意見
1	ルート情報発信 【大雪・富良野ルート】	・ドライブナビの活用によるシーニック資本の発掘と発信。 ・コンテンツの質が素晴らしく、他ルートの良いお手本となる ・圧倒的に美しい映像の力。ナレーションがなく字幕だけなのもよいと思います。英語字幕も素晴らしいのですが、ネイティブに見てもらった方が良いかもしれません。視聴数を増加することもお考え下さい。 ・SNSを活用した情報発信や訴求力は未来があります。使い易さと楽しさや工夫がいっぱい詰まったシニアにも簡単に活用できるナビにどんどん進化させていって下さい。 ・大雪・富良野ならではのドライブ景観を活かした取組であると評価する。 今後は、Youtubeへの誘い方を研究・工夫して、たくさんの人に見てもらい、そして現地に訪れてもらう取組へと進化させて欲しい。
2	道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上 【釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ】	◎ 道の駅駐車場の利用システム構築の実装化。 ・増大する道の駅での車中泊への取組みは評価できる。道の駅車中泊のあり方についての議論のきっかけともなる ・長年取り組んでこられたプロジェクト。全国の道の駅に共通する悩みでもあり、広く発信していただきたい。 ・「道の駅」は現在も将来も道路利用者にとって快適さと利便性を確保するのに有用且つ有益な機能ですが、その中でも駐車スペースに着目したのは慧眼の至りです。今後もヒアリングを継続し、ニーズ・ウオントに沿った先進的な取組を期待します。 ・言葉だけでない道の駅との取組を大いに評価する。両者にとってWinWinの関係づくりが実現したことは、今後の道の駅とシーニックのモデル事例となる。道路協力団体の活動としても評価に値する。
3	地域協働によるサイクルラックづくり 【萌える天北オロロンルート】	・地元高校生との連携による地域意識向上への挑戦。 ・次世代の巻き込みも目指した好取組。苫前高校の応募者像という成果は素晴らしい。 ・地元高校生を巻き込んだサイクルツーリズムへの取組、是非その輪を広げていって下さい。
4	～海外渡航への道を切り開いた咸臨丸が眠るサキ岬～ チューリップ植栽活動等による観光魅力向上の活動 【どうなん・追分シーニックバイウェイルート】	・持続的活動によるツーリズムスポットの維持と認知度向上への努力。 ・多くの人手を動員した努力は高く評価できる ・チューリップと他の資源との相乗効果の発現、総合的イメージの形成を期待したい。 ・5万個のチューリップの球根掘り起こし、球根植えの重労働を支えるボランティア集めなど、長年にわたる活動団体の継続的な取組を評価する。
5	きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み 【天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ】	・他地域/他団体との連携による活動の拡がりや深まりづくりへのチャレンジと実装化。 ・サイクルツアーとしての総合的取り組みとして評価。マネタイズの見通しは？ ・アフター・コロナ、ポスト・コロナ時代のツーリズムはおそらく従来のツーリズムとは別の顔をしています。北海道エコ・モビリティをいち早く提唱してきた御ルートにとって時代が追い付いてきたかの様です。その中心をなすサイクルツーリズム、いよいよ成長、発展させてください。「とんがりライド」、「縦断ライド」の連携も良い企画ですね。

魅力ある観光空間づくり賞

活動名称 道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上

エントリー部門 魅力ある観光空間づくり

ルート名称 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の背景と課題・目標：

- ・夏の繁忙期に駐車場が慢性的に混雑

課題① 道路利用者のニーズを把握し、改善策を検討すること

↳ 課題② 駐車場所を確保し快適な利用環境を創出すること

↳ 課題③ 駐車場の混雑を緩和させること

目標：すべての道の駅訪問者が気持ちよく利用できる環境の創出

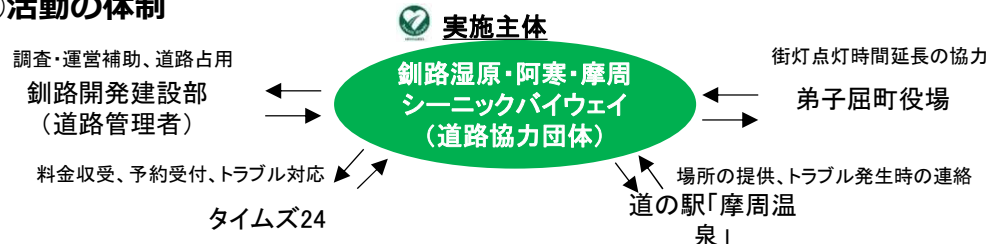
●活動内容と活動期間：

活動① 道路利用者のニーズ把握のために調査を実施（H26・27年度）

↳ 活動② 予約制駐車スペースの実施（R1～継続中）

↳ 活動③ 臨時駐車場への案内誘導（R2～継続中）

②活動の体制



③PRポイント

- 活動② 予約制駐車スペースの実施（R1～継続中）
 - 風景街道団体および道路協力団体として**全国初**の取組
 - アンケート回答者の**9割以上が「再度利用したい」と回答**
 - アンケート**回答者全員が弟子屈町内施設（飲食等）を利用**しており、**経済波及効果が期待**
 - 取組で得た**収益を清掃活動資金として充当**
 - 道外道の駅で、本取組を参考にキャンピングカー専用駐車場を運営
- 活動③ 臨時駐車場への案内誘導（R2～継続中）
 - 臨時駐車場の利用台数が**26%増加**（R3/R1比較）

＜①駐車場の利用状況調査 & ヒアリング調査＞

【利用状況調査結果】



駐車マス外での車中泊

【ヒアリング調査結果】

- ・ゴミを捨てるところがなくて困っている
- ・道の駅で有料ゴミ袋を売るなどしてゴミを引き取ってほしい
- ・キャンパーブースがあると良い
- ・駐車場にキャンピングカーを停めるにはスペースが狭い
- ・トイレにコンセントを設置してほしい（ドライヤーなど使いたい）
- ・とにかく静かにしてほしい

＜②予約制駐車スペースの実施＞

令和3年度 取組概要

期 間	7月21日（水）～9月26日（日）
日 数	68日間
利用可能台数	3台/日
運 営	タイムズのB（予約受付、料金収受）
料 金	1,500円
時 間	10:00～翌日 10:00
サービス	電源設備の使用



取組PRチラシ



予約制駐車スペース

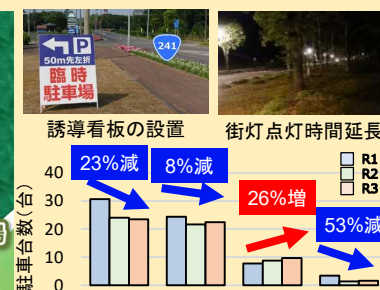


電源設備の使用風景

＜③臨時駐車場への案内誘導＞



駐車場の位置と看板設置場所



朝5時における各駐車場の駐車台数の平均

▼活動団体賞

〔エントリー15件〕

～知らなきゃ損！2人目が無料～

「ふたりぼっちパスポート」事業

(十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間)

地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成

(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ)

▼部門賞

①美しい景観づくり賞

〔エントリー3件〕

～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～

QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト

(支笏洞爺二セコルート)

②活力ある地域づくり賞

〔エントリー7件〕

～知らなきゃ損！2人目が無料～

「ふたりぼっちパスポート」事業

(十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間)

③魅力ある観光空間づくり賞

〔エントリー5件〕

道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上

(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ)

▼最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」

ルート審査委員会から次のプロジェクトが推薦

○～知らなきゃ損！2人目が無料～ 「ふたりぼっちパスポート」事業

■選出理由及び今後の発展に向けての期待

- ・2人目が無料という、分かりやすく、これまでにはなかった切り口であり、トカプチ雄大空間らしい、非常にマーケティングに長けた取り組みである。
- ・アナログ版観光MaaSの成功例。近年はデジタル化への動きが活発になっているが、ビジネスは様々な人との信頼関係が重要であり、まずはアナログを用いた方法により信頼が得ることが重要である。次のステップとして、コースや地域の拡大、デジタルを用いた方法への展開についても期待したい。
- ・地域循環型ビジネスモデル構築への実装化を図れている。地域の中でお金を回し好循環のまちづくり・地域づくりを意識することで、移住者の増加や、地域への新規参入により事業を起こす等、人々が地域に関わるモチベーションに繋がり、持続的な地域づくりの可能性が秘められている。他ルートへの普及活動にも期待したい。

参考資料



ベスト シーニックバイウエイズ プロジェクト2021 応募プロジェクト一覧

ベストプロ2020 最優秀賞



支笏洞爺ニセコルート

～景観障害物を撤去して再利用！～
景観向上に向けた雑木伐採と資源のリユースプロジェクト



萌える天北オロロンルート

オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

シーニックバイウエイ北海道推進協議会

ベストシーニックバイウエイズプロジェクト2021

① 美しい景観づくり



1. ～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～

QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト

(支笏洞爺ニセコルート)

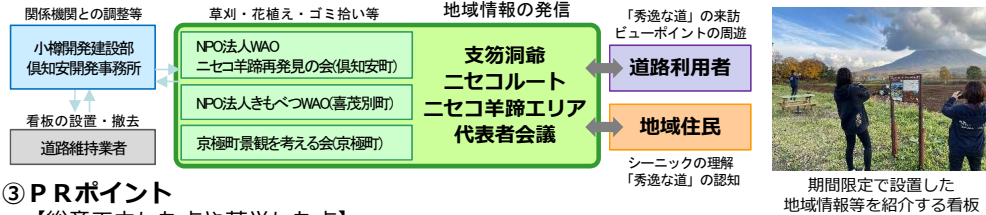
2. シーニックデッキの設置 (東オホーツクシーニックバイウエイ)

3. ジモトナタビ＋ピリカ (知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイ)

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
 - ・シーニックバイウェイの原点と考える“美しい沿道景観づくり”とその取り組みを支える“人”と“活動”に関する情報発信を目的としたプロジェクト。
 - ・この取り組みの継続展開により、美しい道路空間づくり、走って楽しい道路空間づくりを目指し、地域内外に誇れるシーニックバイウェイ「秀逸な道」の更なる認知度向上に向けた展開とすることを目的としている。
- 活動内容：①ビューポイントパーキングへの看板設置による地域情報の提供と効果検証
②地域活動団体メンバーがシーニックを語るアーカイブ動画の作成と配信
- 活動期間：令和2年度(2020)～令和3年度(2021) ※継続展開中
- 実施場所：ニセコ羊蹄エリア内のビューポイントパーキング3箇所
(倶知安町八幡、京極町更進、喜茂別町相川の各ビューポイントパーキング)

②活動の体制



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
 - ・単なる景色や風景の紹介にとどまらず、地元の人々がどのような思いでこの場所を大切にしているか等を地域活動団体メンバーが語ることで**場所の持つストーリー性**を発信するよう配慮した。
 - ・今後、他メンバーや季節ごとの素材をさらに収集予定。
- 【活動による効果】
 - ・「更進ビューポイントパーキング」が道路ユーザーにより**ポkestopp**に登録された。(右写真参照)
 - ・当初、来訪者向けのプロモーション動画を想定して撮影・配信したが、地域住民等、地域内へのシーニックバイウェイや「秀逸な道」の周知にも役立った。

※**ポkestopp**とは？
ゲームユーザー自身がモニュメントや記念碑などをスポットとして申請することでゲーム内に登場させることが可能。

STEP1 美しい景観づくり活動の継続と動画撮影



STEP2 仮設看板の製作と設置



STEP3 シーニックバイウェイYouTubeチャンネルでの動画公開



①活動概要

- 活動の目的・目標：
 - ・景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流を促進します。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高め、更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与させます。
- 活動内容：
 - ・常設されているウトロポケットパーク（斜里）の他、あばしりフロックス公園（網走市）、メルヘンの丘（女満別）、季風クラブ（ウトロ）、コスモスロード（清里上斜里）、コミット（清里）、きよ～る（清里）、斜里岳山小屋清岳荘（清里）、小清水リリーパークに置いて地域交流、休憩、良好景観鑑賞用のウッドデッキを春～秋にかけて設置しています。また、シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数力所から人の多く集まる箇所にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催しています。
- 活動期間：
 - ・平成17年度～（マルシェは上斜里コスモスロードでの試行を含め平成19年度～だが令和3年度はコロナで中止）

②活動の体制

- 活動団体、人数、体制図等
【デッキ設置・撤去】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会
【マルシェ】上記の活動団体の他、ルート内の農商工業者（出店者。10団体/年程度）

③PRポイント

- 創意工夫した点
利用促進のため、マルシェやルートマップ、HPやSNSを活用してルート内外への取り組みと設置場所・時期の周知を行いました。
- 苦労した点
メンバーも高齢化しているため、マルシェ時のテント等の移動や補修時のデッキの移動が大きな負担となっています。地元建設業関係者やルート担当にも協力頂いていますが、今後マルシェ出店者にもマルシェ時の移動には協力頂く等の対応を行っていただければと考えております。
- 活動による効果
ルート内の新たな景観資源となりました。マルシェの実施により、ルート内でのシーニックの認知度向上、農商工業者の新たな販売機会を創出することができました。
- ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2015受賞（美しい景観づくり賞）からの改善点
近年売上の多いウトロ、パパス（清里）のマルシェを中心にルート内他地域も含めた新たな出店者への呼びかけを強化し、新規出店を行うことができました。それによりマルシェ来訪者が増加し、シーニックデッキやルート内景観の認知度向上、特産品売上向上等の改善がなされました。



シーニックデッキ（網走市フロックス公園）

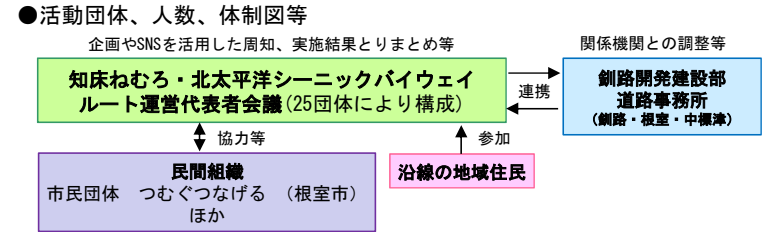


シーニックマルシェ（道の駅ウトロ・シリエトク）

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
 - ・コロナ禍でも景観保全に向けた清掃活動を継続するため、少人数でも清掃が可能な手法の検討や参加者への周知を工夫した取組。
- 活動内容：
 - ・ゴミ拾いアプリ「PIRIKA（ピリカ）」を活用した清掃活動
 - ・一人でもできるごみ拾い活動、地域での情報共有方法を提案
- 活動期間：
 - 令和3年度～（継続中） ※令和3年度清掃月間：5月13日～6月13日
 - ※期間外も清掃活動継続の呼びかけ実施

②活動の体制



③PRポイント

- 【創意工夫した点や苦労した点】
- ・人が集まらなくてもできる、一人から始められる清掃活動を企画、提案し、コロナ禍においても清掃活動を継続。
 - ・アプリ開発会社（株）ピリカへのヒアリングを行い、利用者特性や活用方法等を確認。地域で活用できると判断し、企画・提案を実施。
 - ・アプリの使い方を作成し、ルートのWEBページで公開すること、SNSで周知することにより、導入しやすくなるよう工夫。
- 【活動による効果】
- ・清掃活動を投稿することで活動が見える化。地域のモチベーションアップにもつながり、外出時にちょっとした清掃活動を行うなど、これまでの清掃活動よりも実施地域が広がった。
 - ・清掃月間の期間外にも、活動継続を呼びかけあったことで、地域のつながりが増し、投稿（清掃活動）が継続。

【ジモトナタ+ピリカ（清掃活動）の概要】

- OHPやSNSによる清掃活動の呼びかけ
- ゴミ拾いアプリ「PIRIKA（ピリカ）」の使い方を作成し、ルートのWebページで公開。



○投稿実績等

月別投稿件数		清掃活動した地域等
5月	8件	根室市：明郷（国道243号）ほか 浜中町：暮帰別東 ほか 中標津町：豊岡（国道272号）ほか
6月	10件 期間外 2件含む	根室市：明郷（国道243号）、 常磐町（国道44号）ほか 中標津町：川西（道道883号）ほか
7月	1件	根室市（道道53号）
8月	1件	中標津町：西町
10月	1件	別海町：尾岱沼（国道244号）
フォロワー数等 (R3年度末現在)		フォロワー 31人、 ゴミ拾い量 4,888リットル、 ありがとう数 25,441



② 活力ある地域づくり

1. ルート内道の駅スタンプラリー（東オホーツクシーニックバイウエイ）
2. 地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成（釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ）
3. ～つくる責任 つかう責任 SDGsの目標12の採用～
持続可能な資源のリユースと活動体制づくり（函館・大沼・噴火湾ルート）
4. ～知らなきゃ損！2人目が無料～「ふたりぼっちパスポート」事業（十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間）
5. 小金湯さくらの森と周辺の知名度向上＆魅力アップ事業（札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山渓ルート）
6. ～企業との連携、公共交通との融合～ どうなんサイクルツーリズム推進事業（どうなん・追分シーニックバイウエイルート）
7. ～ひとつひとつの町に物語があります～
ルーツを知り、物語を紡ぐ『空知ノ物語（奈井江編）』（空知シーニックバイウエイ-体感未来道-）

ルート名称

東オホーツクシーニックバイウェイ

①活動概要
ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内7道の駅を対象としたスタンプラリーを4月15日～11月3日の期間で実施しました。景品(完全制覇賞:8道の駅特産品詰め合わせ×2名、各駅賞:8道の駅それぞれの特産品×16名、コカ・コーラ賞×6名、シーニック賞×2名)

②活動の体制
●活動団体、人数、体制図等
【主催】：東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
【後援】：網走開発建設部、北海道コカコーラボトリング(株)
【協力】：LIA FMあばしり、ルート内8道の駅

③PRポイント
●創意工夫した点
包括連携企業であるコカ・コーラ(株)と連携し、景品等の一部を確保できました。

●苦労した点
予算的制約等から、スタンプラリー帳にはシーニックの情報はルート名、ロゴ、簡易地図の記載が限界でした。今後はルートの認知度向上のため、ルートで推挙している観光資源、秀逸な道情報等も加えていきたいと考えています。

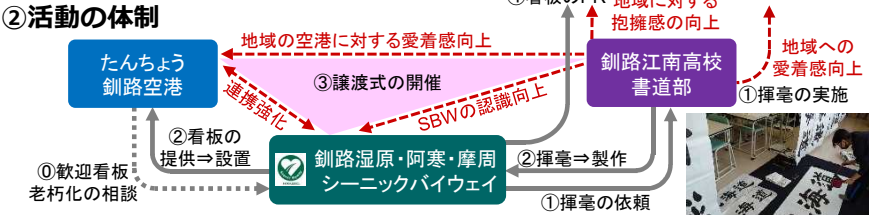
●活動による効果
スタンプ帳12,000を作成・配布し、当選者枠が26人でありましたが1,400人の応募をいただき、アンケート(1,400人)結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、「集めるのに丁度よい数」等の好評の感触を得ることが出来、ルート内回遊性の向上に寄与できたと考えています。



ルート名称

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)
●活動の背景
・平成22年にたんちょう釧路空港に寄贈した手作り看板が風雨で老朽化
・シーニックバイウェイの活動を通じて、地域の高校との関係性を構築
●活動の目的
これまでシーニックバイウェイとの連携が少なかった高校生世代と連携し、シーニックバイウェイを知ってもらうとともに、自分の育っている地域に「愛着感」「抱擁感」を感じ、「地域愛」を育んでもらうことを目的とした。
●活動内容
①SBW946より釧路江南高校書道部に、看板への揮毫の協力を依頼(快諾)
②書道部が揮毫した作品を元に、地域住民が手作りで看板を製作、設置
③SBW946、釧路江南高校書道部、たんちょう釧路空港で譲渡式を開催
④Scenic Byway Vol.28や新聞などでの空港看板の紹介(PRを開始)
●活動期間：令和2年度～令和3年度



③PRポイント
●地元の高校生と連携した点
⇒次世代を担う若者に地域への愛着感、地元大切にされている感を育成
⇒次世代を担う若者にシーニックバイウェイと活動内容を知ってもらう
●ドライブ観光客の玄関口である空港と継続的に連携している点
⇒「懐かしシーニックパネル展」の開催、「ぐるっとスタンプラリー」への参加等
随所でたんちょう釧路空港、根室中標津空港と連携して地域の魅力を発信
●「そらの森の植樹活動」などで、地元の小中学生と連携した活動も継続中

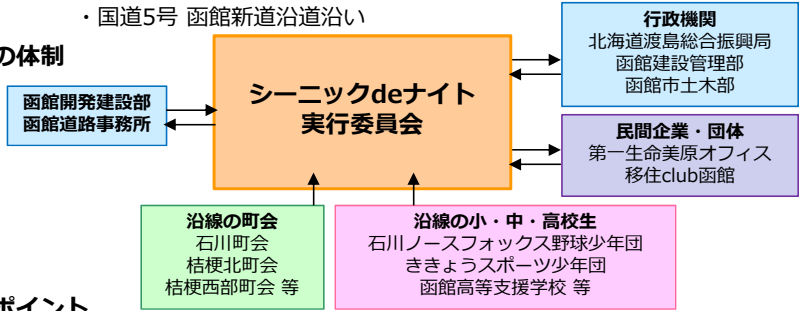


ルート名称 函館・大沼・噴火湾ルート

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
 - ・シーニックdeナイト実行委員会と沿線町会、教育機関、民間企業等が連携し、**SDGs目標12**を取り入れ、**石油資源の節約**と**CO₂排出量の削減**を図ること。
 - ・シーニックバイウエイ北海道のキーワードである『連携(地域住民と活動団体と観光客等)』による「地域の活性化」や「広域にわたる連携・協力体制の構築」。
- 活動内容：①資源のリユース・リサイクル「ワックスキャンドル製作体験会」
②仲間づくり「シーニックdeナイト」～YouTubeによる取組紹介～
- 活動期間：平成18年度(2006)～令和3年度(2021) ※継続展開中
- 実施場所：・石川町会館、函館除雪ステーションほか
・国道5号 函館新道沿道沿い

②活動の体制



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
 - ・世代を超えて活動に参加してもらえるよう、教育機関を中心に沿線町会や民間企業等、各関係者へ広く周知・声掛けした。
 - ・ワックスキャンドルの製作にあたり、**SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」**を取り入れることで、**石油資源の節約**と**CO₂排出量の削減**に貢献している。
 - ・さらなる取組みの拡大展開に向けて、当日の様子を撮影しアーカイブ動画データとして保存することで地域内外の連携強化につながるよう工夫した。
- 【活動による効果】
 - ・参加者数の拡大や道南地域へのプロジェクト自体の認知度が着実に定着した。
 - ・当初参加の無かった自治体や会場等が、それぞれ独自のイベントとの連携により新規加入するなど、活動の輪が広がっている。
 - ・持続可能な展開に向けて、**資源や資金の循環**という意識が地域内に芽生えている。

＜資源のリユース・リサイクル「ワックスキャンドル製作体験会」＞

ワックスキャンドル製作体験会には、地元の小学校の児童や高等支援学校の生徒、PTAも参加するなど、世代を超えて活動の参加を楽しんでいる。また、ワックスキャンドルで使用するローソクは植物性の原料で作られており、石油資源の節約とCO₂排出量の削減に貢献している。



＜仲間づくり「シーニックdeナイト」～YouTubeによる取組紹介～＞

地域住民と活動団体、訪れる観光客等への取組みの周知を目的とした「シーニックdeナイト」の動画を制作(4箇所)しYouTubeにて公開している。※今後も追加更新予定



実行委員会を中心とした上記の取組みを通じて、持続可能な**資源のリユース・リサイクル**や**連携・協力体制の構築**に大きく貢献

ルート名称 十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間

①活動概要

- 活動目的
「グルメ」「ガーデン」「温泉」「アクティビティ」「グッズ」の5つの魅力を活用し、地域住民の周遊促進、施設のPR、相互送客、新規ファン獲得を図る。
- 相互誘客による施設同士の連携醸成、来客数・収益UPによる地域経済の活性化を図る。
(ルート設立当初から、形態を変えながらの継続事業)

活動内容

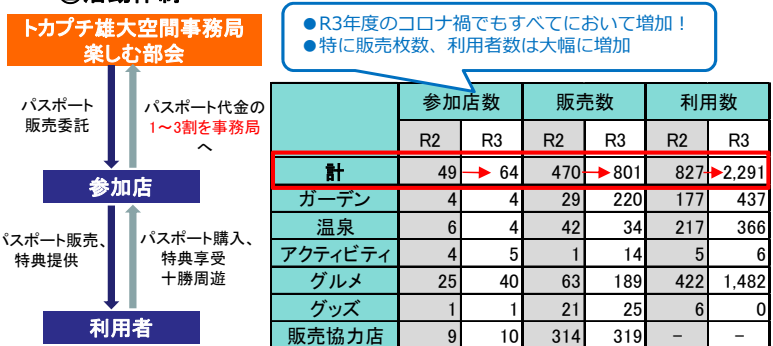
・2人以上で対象施設を利用すると**1人分の料金が無料となるパスポート**(1冊1,400円)を制作・発行。

実施期間

令和2～3年度(5月1日～11月30日)



②活動体制



③PRポイント

- 【創意工夫した点】
 - ★**利用者の送客効果**
利用者が、パスポート掲載の他の施設を利用することによる送客効果がある。
 - ★**施設内の販促演出・販促物の提供**
複数施設が集まることで共同販促ができる。
 - ★**情報発信**
利用方法・お得感をイメージしやすいように、利用方法の動画を制作、Youtubeに公開。トカプチ雄大空間各SNSで参加店情報を随時発信。
 - ★**利用者、参加施設の双方にメリット**
利用者、参加施設双方へメリットを提供する仕組みづくり。

●パスポート販売収入

- ・参加施設はパスポート販売額の7～9割の収入(売上)で原価回収！

パスポート代金 1,400円内訳 → 施設売上=1冊1,300円～ 事務局収入=1冊100円～
※トカプチ雄大空間会員の場合

●2名以上が来店

- ・1名半額よりも粗利額が確保できる。
- ・特典商品以外の購入で、客単価の向上。

●新規客層をゲット！

- 1人無料で気軽に試せるので新規客層増加が見込める

【活動による効果】

- (1)施設の宣伝効果、ファンの獲得
SNS上で「お得！」「普段行かない所へ行った！」との投稿や、個人によるパスポート利用動画がyoutubeに投稿された。参加店の「ファン」となり、リピーターになる例も。
- (2)周遊促進効果
令和2年度より、販売数・利用数・パスポート1冊における利用数が増加⇒本パスポートを利用した十勝周遊観光者が増加している。
- 【今後の課題】
 - ・参加店増加による紙面掲載枠が縮小。冊子型にするなど予算を見ながら対応。
 - ・パスポート販売のみの施設(原価なし)でパスポート購入→原価がある施設へ訪問による不満解消が課題。



★十勝移住の漫画家「横山裕二」氏にイラストを依頼

販売グッズは全て無料で事務局より提供

利用者もお得！

- ◆1人分無料でお得に十勝周遊！
・1人分無料が最大の魅力！訪れたことのない施設や飲食店も気軽に試せる！
- ◆3か所訪問で元が取れる！
600円以上の商品(特典)が提供されているので、パスポート代の1,400円もすぐに元がとれちゃう！
- ◆総額3万円以上お得！
パスポート掲載施設を全て訪問すると3万円以上もお得に！



活動名称

小金湯さくらの森と周辺の
知名度向上と魅力アップ事業

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

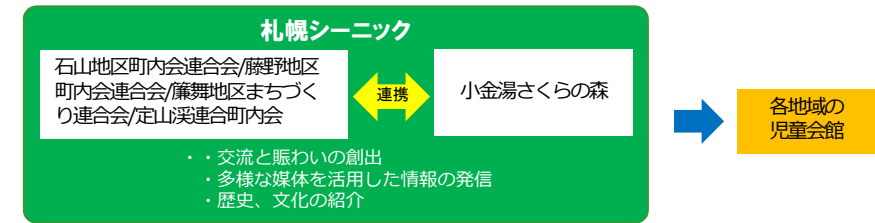
①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
札幌市南区にある「小金湯さくらの森」を中心としたエリア（小金湯地区、簾舞地区、藤野地区、定山溪地区）において、観光への展開や地域の交流、農業の促進のため、小金湯さくらの森と周辺の知名度向上と魅力アップに取り組んでいる。
- 具体的な取り組み内容
小金湯さくらの森が平成28年にオープンしてから、桜祭り、(5月)、夏祭り(7月)、秋祭り(9月)の年3回のお祭りを平成29年度から実施している。また、小金湯さくらの森をテーマにした絵本や紙芝居を制作し、さくらの森及び南区での読み聞かせ会を実施している。令和3年度においては3回のお祭りがコロナのため中止となり、さくらの森での読み聞かせ会は中止となったが、南区地域の児童会館で、新作紙芝居「のの」とオオムラサキ」の読み聞かせ会を開催した。

【場所・日時】

- ①石山児童会館での読みきかせ会（令和3年10月21日（木））
 - ②藤野南小学校ミニ児童会館読み聞かせ会（令和3年11月12日（金））
- 【参加人数】
- ①参加者（児童14名、大人10名）、②参加者（児童35名、大人4名）

②活動の体制



③PRポイント

- 【総意工夫した点】
- ・制作した絵本については、札幌市南区に縁のある絵本作家に絵本を描いてもらった
- 【活動による効果】
- ・南区に住んでいる子供たちの地域愛着の醸成
- ・小金湯さくらの森という地域のシンボルとなる公園を核とした地域活動の促進



R1年度に開催した小金湯さくらの森秋祭りの様子



小金湯さくらの森秋祭りで紙芝居「このたと桜の森」の読み聞かせをしている様子



石山児童会館での読みきかせ会の様子

作成した絵本「のの」とオオムラサキ」

活動名称

～企業との連携、公共交通との融合～
どうなんサイクルツーリズム推進事業

エントリー部門

活力ある地域づくり

ルート名称

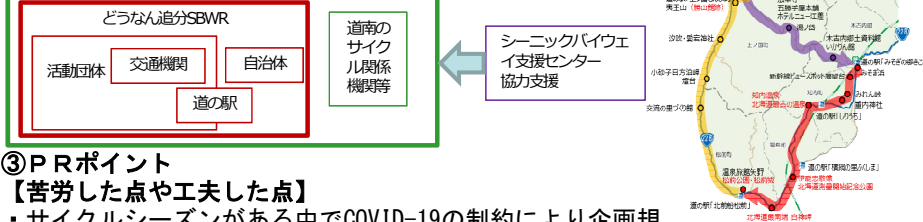
どうなん・追分シーニックバイウェイルート

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標： ルート最大の魅力である歴史・文化に触れながら交通過疎地帯の新たな道路活用・観光・健康・エコロジーに着目した広域のサイクルツーリズムを国内外に向け進め、官民連携で交流人口の拡大・地域経済の活性化を図る。また、地域全体のサイクリングの受入・走行環境整備と情報発信を行う。
- 活動内容： ・2017年（H29）試走で推奨基本コースのルートを構築。
- ・2018年（H30）道の駅等にサイクルラック等整備。南北海道連携モニターツアー開催。
- ・2019年（R1）海外（台湾）との連携ツアー開催。エリアサイクルガイド養成講座開催。
- ・2020年（R2）「マクロ女子会」とコラボ、青森連携ツアー開催。コースマップ作成。
- ・2021年（R3）全国初自転車搭載バスと道南いさりび鉄道をツアーで活用。公共交通に自転車をそのまま搭載し移動し、周遊する継続的な実証及び試行を行った。
- ・「チャリ旅みなみ北海道」のHP・SNS発信やコースパンフレット等PR継続実施。

●活動期間：2017年度～2021年度（継続中）

②活動の体制



▲自転車搭載函館バスの活用 ツアー時10/2～3（2号車R3.4～）

③PRポイント

- 【苦労した点や工夫した点】
- ・サイクルシーズンがある中でCOVID-19の制約により企画規模等の縮小。関係者への周知の範囲で取組を実施した。
- ・情報共有してきた事でサイクリングに対する理解が深まり、支援体制が広がった。
- 【活動の成果】
- ・サイクルツーリズムの活動が地域に浸透し、函館バス・道南いさりび鉄道等公共交通機関を活用したツアーの実現等、活動の輪が着実に拡大している。
- ・地域活動団体・企業等と連携・協力し地域周遊観光を構築している。
- 【今後の活動予定等】
- ・官民連携の継続的な活動により、サイクリングコースとしての受入体制の向上・走行環境の整備を交通に限らず、多方面で行っていく。



▲道南いさりび鉄道自転車搭載 ツアー前試行・調整（7/31上磯駅にて実施）



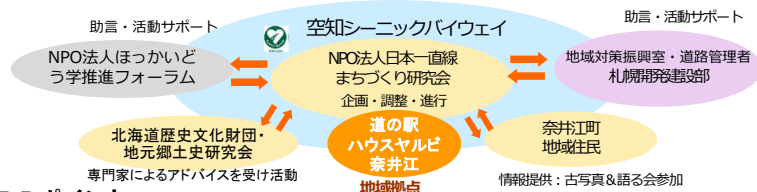
▲道南いさりび鉄道自転車搭載 ツアー時10/1（七重浜駅～札幌駅間）

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
 - ・空知シーニックバイウェイでは「ルーツを大切に、未来に繋ぐ空知ingな地域づくり」に取り組んでいます。本活動は、道の駅等の地域の拠点施設を核に、地域を築いてきた先人達の暮らしや歴史をアーカイブし、シニア世代から若年世代、子育て世代へ語り継ぐことを通じて、地元愛の醸成を促し、地域への定住促進につなげるとともに地域コミュニティの再構築を図ることを目的としています。
- 活動内容：
 - 1.古写真の収集：昭和から平成までの奈井江町で写した写真（人・町並み）や町の広報誌、地図、チラシ、名簿等を地域住民より収集。
 - 2.先人のエピソード（語る会）：道の駅「ハウスヤルビ奈井江」2階を会場に、専門家のお話を聞いたり、懐かしい昔話に花を咲かせたりする“語る会”を開催。
 - 3.空知ノ物語アーカイブ：資料収集と語る会を、市民向け歴史伝承活動として継続するとともに『空知ノ物語（奈井江町編）』としてアーカイブ。
- 活動期間：
 - R2 道の駅に古民家再現・座談会、R3：古写真収集・語る会※R4以降空知SBW内で展開

②活動の体制

- 主催：NPO法人日本一直線道まちづくり研究会
- 協力：空知シーニックバイウェイ体感未来道-、NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム、札幌開発建設部 他



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
 - ・町の何気ない暮らしの様子を地域住民から直接、語ってもらえるよう工夫。
 - ・北海道歴史文化財団や地元郷土史研究会等、専門家のアドバイスを受け活動。
 - ・関係者との調整、コロナも含めた安全対策の徹底。
- 【活動による効果】
 - ・道の駅等の地域拠点で、地域住民の交流が生まれた。
 - ・地域内外の関係者間のネットワークが構築された。



Step1



Step2



Step3



③ 魅力ある観光空間づくり



1. ルート情報発信

（大雪・富良野ルート）

2. 道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上

（釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ）

3. 地域協働によるサイクルラックづくり

（萌える天北オロロンルート）

4. ～海外渡航への道を切り開いた咸臨丸が眠るサラキ岬～ チューリップ植栽活動等による観光魅力向上の活動

（どうなん・追分シーニックバイウェイルート）

5. きた北海道エコ・モビリティの推進 地域のブランド化に向けた取り組み

（天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ）

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の目的・目標：

国道237号深山峠が秀逸な道区間に認定を受けたこときっかけとして、シーニックバイウエイ北海道や大雪・富良野ルートの認知度を高め、周遊観光を推進するために、スマートフォンアプリやyoutubeを活用した情報発信を強化した。

●活動内容：

①スマートフォンアプリを活用した情報発信

スマートフォンアプリ「美瑛・富良野ドライブナビ」を活用し、ドライブ情報誌「シーニックバイウエイ」に掲載された施設やシーニック関連施設、沿道の植樹活動（100年の木プロジェクト）などの情報を掲載し、個人旅行者への情報発信を強化した。

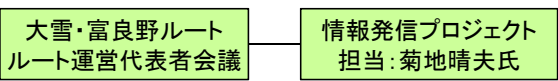
②YOUTUBEを活用した情報発信

秀逸な道やルート内の美しい道・風景が楽しめる場所について、ドライバー目線での動画を撮影し、動画配信を行った。

●活動期間：令和2年度～令和3年度

実施箇所：大雪・富良野ルート内

②活動の体制



③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

美瑛・富良野トラベルナビは、今後のインバウンドを見据え多言語表示ができる。また利用者獲得に向けて、卓上型の三角ポップを作成し配布した。秀逸な道については、4Kや5Kによる高画質で撮影するとともに、360度カメラでの撮影も実施し、ドライブを疑似体験できる動画を配信している。

【活動の成果】

YOUTUBE動画は全部で17本アップし、冬に動画を公開したがこれまでに合計で5325回の再生がある。またトラベルナビは、シーニックの関連施設38か所を掲載している。



①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

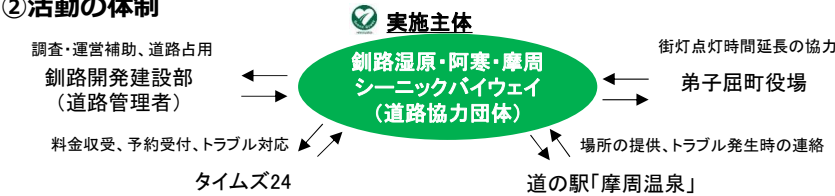
●活動の背景と課題・目標：

- 夏繁忙期に駐車場が慢性的に混雑
- 課題① 道路利用者のニーズを把握し、改善策を検討すること
- 課題② 駐車場所を確保し快適な利用環境を創出すること
- 課題③ 駐車場の混雑を緩和させること
- 目標：すべての道の駅訪問者が気持ちよく利用できる環境の創出

●活動内容と活動期間：

- 活動① 道路利用者のニーズ把握のために調査を実施（H26・27年度）
- 活動② 予約制駐車スペースの実施（R1～継続中）
- 活動③ 臨時駐車場への案内誘導（R2～継続中）

②活動の体制



③PRポイント

- 活動② 予約制駐車スペースの実施（R1～継続中）
 - 風景街道団体および道路協力団体として**全国初**の取組
 - アンケート回答者の**9割以上が「再度利用したい」と回答**
 - アンケート**回答者全員が弟子屈町内施設（飲食等）を利用**しており、**経済波及効果が期待**
 - 取組で得た**収益を清掃活動資金として充当**
 - 道外道の駅で、本取組を参考にキャンピングカー専用駐車場を運営
- 活動③ 臨時駐車場への案内誘導（R2～継続中）
 - 臨時駐車場の利用台数が**26%増加**（R3/R1比較）

《①駐車場の利用状況調査&ヒアリング調査》

【利用状況調査結果】

【ヒアリング調査結果】

- ゴミを捨てる場所がなく困っている
- 道の駅で有料ゴミ袋を売るなどしてゴミを引き取ってほしい
- キャンパーブースがあると良い
- 駐車場にキャンピングカーを停めるにはスペースが狭い
- トイレにコンセントを設置してほしい（ドライバーなど使いたい）
- とにかく静かにしてほしい

《②予約制駐車スペースの実施》

令和3年度 取組概要

期 間	7月21日（水）～9月26日（日）
日 数	68日間
利用可能台数	3台/日
運 営	タイムズのB（予約受付、料金収受）
料 金	1,500円
時 間	10:00～翌日 10:00
サービス	電源設備の使用

《③臨時駐車場への案内誘導》

誘導看板の設置 街灯点灯時間延長

項目	R1	R2	R3
第1駐車場	23%減	8%減	26%増
第2駐車場	23%減	8%減	26%増
臨時駐車場	23%減	8%減	26%増
朝5時における各駐車場の駐車台数の平均	23%減	8%減	26%増

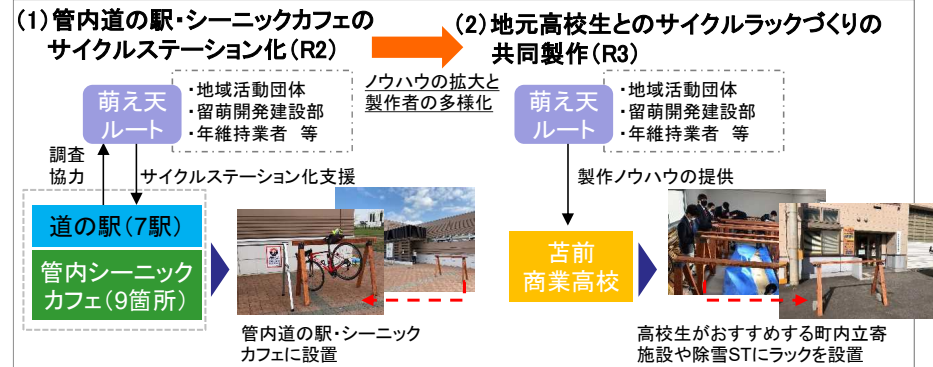
①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：
 - ・サイクリストにとっても全国的知名度のある区間「オロロンライン」の魅力を、ビギナー層やライト層にも体感いただくため、管内の事業者・団体と連携しサイクリストの受入環境を構築する「サイクリスト・応援プロジェクト」を令和元年度より展開。
 - ・サイクルラックを手作りすることを通して、地域一丸でサイクルツーリズム推進の機運を醸成することを目的とする。
- 活動内容：(1)管内道の駅・シーニックカフェのサイクルステーション化（サイクルラック・空気入れ・工具の設置）、(2)地元高校生とのサイクルラックづくりの共同製作
- 活動期間：令和2年度～令和3年度 ※継続実施中



本プロジェクトで用いるロゴ

②活動の体制



苦前商業高校とのサイクルラックの共同製作

③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- (1)管内道の駅・シーニックカフェのサイクルステーション化(R2)
 - ・シーニックに深い関係のある施設のサイクルステーション化を手作りで行うことで、サイクリストの受入環境整備の必要性を関係者で体感的に共有できるようにした。
- (2)地元高校生とのサイクルラックづくりの共同製作(R3)
 - ・地域活性化を共通目的に地元高校生とラックを共同製作。ラック設置箇所をワークショップ型式で一緒に考えることで、若い世代の意見を取り入れながら、受入環境整備のノウハウを共有できるようにした。

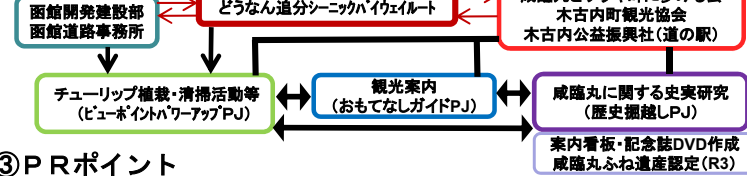
【活動による効果】

- サイクルラックを作るノウハウがルートメンバーに定着し、今後の各市町村での伝播を期待。
- ラック共同製作が苦前商業高校のPRとなり、出願数の増加の一助となった。

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 活動の目的・目標：一般国道228号の立寄リスポッとして、津軽海峡に面した自然景観の良好さと咸臨丸が沖で沈んだ史実研究を行い、観光空間として資源を掘起しを実施。また、咸臨丸等を紹介した看板等の設置およびビューポイントとして 地域住民と活動団体・道路管理者が連携した維持活動に取組み、観光客へ憩いの場所として提供するとともに官民一体となり魅力ある観光空間をつくり、地域活性化を図る。
- 活動内容：4月清掃活動・5月チューリップフェア（GW祝土日を挟む数日間）・7月チューリップ球根掘起し・9月咸臨丸終焉150周年（2021年度のみ）・10月チューリップ球根植栽・その他随時草刈り等整備実施。
- 活動期間：平成20年度～令和3年度（当ルート設立より15年目継続活動中）

②活動の体制



サラキ岬チューリップフェア

GW前清掃活動

③PRポイント

【苦労した点や工夫した点】

- ・5万個のチューリップの球根の掘起しと球根植栽の作業は重労働だが当初ボランティア収集に苦労。認知度上昇とともに近年は100人以上の参加に拡大し作業効率が向上。
- ・数年費やした史実研究結果を観光案内看板・記念誌として取り纏めた。その予算の捻出とそれらの媒体を認知向上するために最大限に活用し普及させること。

【活動の成果】

- ・令和4年3月26日に函館・江差自動車道北斗茂辺地IC～木古内IC間が開通しエリアに誘客が望める一方で国道228号のサラキ岬沿線の使用減少が懸念される中、道内上位の人気道の駅「みそぎの郷きこない」に集まる観光客をコンシェルジュの案内でサラキ岬へ誘客するシステムと資源案内看板の整備を行ってきた。
- ・景観や資源を楽しむビューポイントスポットとして、認知度が向上した。
- ・研究成果として令和3年度非現存船では異例に咸臨丸がふね遺産認定された。

【今後の活動予定等】

- ・ルートの他の町や資源と歴史の連携によるツアーや体験観光等広域周遊の推進。
- ・より多くの人たちが観光ポイントとして立寄りやすく、休憩できる資源案内。
- ・サラキ岬がより魅力的な空間となるよう、ステップアップした研究及び維持管理活動の継続。



チューリップ球根掘起し

チューリップ球根植栽

道の駅 コンシェルジュ観光案内

咸臨丸終焉150周年記念誌&DVD

史実案内看板設備

史実案内看板設備

活動名称	きた北海道 エコ・モビリティの推進	地域のブランド化に向けた取り組み	エントリー部門	魅力ある観光空間づくり
ルート名称	天塩川シーニックバイウェイ×宗谷シーニックバイウェイ			

①活動概要(目的・目標、具体的な取り組み等)

- 目的・目標／体験型観光と個人旅行のニーズを含め、一次交通の衰退や二次交通の脆弱さを逆にとり、地域にとってプラスとして、地域資源に触れ・遊び、移動そのものが観光となる新しい旅のスタイル『きた北海道エコ・モビリティ』を広域で連携・推進
⇒その一つの形として、**自転車**を軸としたイベントを“地域ブランド”として定着させ、**地域への経済効果・周遊性向上へ繋げる**
- 活動内容／**サイクリングを主とした地域ブランド確立に向けたイベントの実施と広報・PR**
自然環境豊かな道北の魅力伝えるため、旭川～稚内を結ぶ広域サイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」を継続的に実施(2019年までに全4回開催)。また、地域の人が案内するサイクリングガイドの発掘・育成(研修)やサイクルラックの設置、サイトの作成などを行ってきた。年々参加者も増え、リピーターによる期待も高く、地域の魅力を伝えながら安全に案内できる地域サポートライダーも増えてきた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策に考慮しながら、2021年度にイベントの実施と広報、プロモーションを行った。

北海道サイクリング協会との連携

協会主催のえりも岬～旭川間のサイクリングイベント「とんがりライド」と開催時期等を調整し、北海道の南から北までを繋いだ「縦断ライド」として双方で募集・広報を行った。



旅行会社によるツアー商品化

「TEPPEN-RIDE」のスタート地点となる旭川の旅行会社「北日本観光」により、**ツアー商品とした販売のため、SBWで企画し、募集チラシを作成した。**募集については、サイト等も活用した。



ポスター作成

いつでも地域を訪れてもらい、サイクリングを楽しんでもらえるよう、**通年でPRできるポスターを作成した。**地域特性ある風景等の写真を使用し、天塩川SBWと宗谷SBWで合わせて**全5種類**作成した。<A1サイズ>



道外観光客・旅行会社へのPR

スイスへ視察に行った際に通訳協力いただいた**本州の旅行会社・フェロートラベル社**のお客を対象に、**夏のサイクリングやエコモビリティのPR**を行った。

★2021年3月に道北にスキーツアーに来た際にプロモーションした様子



②活動の体制

実施主体 **きた北海道エコ・モビリティ**
天塩川シーニックバイウェイ【事務局】
宗谷シーニックバイウェイ

【協力・連携】
きた北海道サイクルツーリズム連携協議会／(一社)シーニックバイウェイ支援センター／北海道エコ・モビリティ研究会／北海道開発局 旭川開発建設部・稚内開発建設部／その他(地域活動団体、自治体、企業等)

常に密に情報共有

③PRポイント

●活動期間／7月(広報物作成・PR)、～9月(イベント開催ならず)、3月(ブランド商品化に向けたPR)
●活動範囲／きた北海道エリア(天塩川SBW、宗谷SBW、その他近隣市町村)

【創意工夫した点】

- ・北海道サイクリング協会と連携し、「北海道縦断ライド」を試みた。双方での募集チラシに掲載し、参加者層の拡大を狙った。
- ・冬のスキーツアーの観光客、旅行会社を対象に、**夏の地域の魅力を発信(PR)**し、グリーンシーズンに道北地域を訪れてもらえるような工夫を行った。

【活動による効果(成果)】

- ・夏のサイクリングツアーとして、**TEPPEN-RIDEの一部を通るツアー商品が販売**された。

【今後の展開】

- 旭川市や比布町、サイクリング協会などを含む「きた北海道サイクルツーリズム連携協議会」との連携強化へ繋げる。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を含め、**どのような状況下でも実施できる手法を検討し、次年度には第5回TEPPEN-RIDE開催を目指す(必ずや!)**。



▲フェロートラベル社でのサイクリングツアーの募集記事(サイト、広報誌にて掲載)